

大学院への進学を目指す留学生のみなさんへ

1. 全体的な注意事項

- 1) 理科系の大学において、日本語だけを勉強するコースは通常はありません。よって、入学する前に大学院における授業や研究指導を受けるのに十分な日本語能力を身に付けておく必要があります。
- 2) 留学にあたっては、留学の目的を明確にし、研究計画をきちんと立てることはもちろんですが、留学中の学費・生活費等の資金についても、アルバイト等に依存して勉学に支障をきたすことのないよう、十分な計画を立てるようにしてください。
- 3) 出願にあたっては、あらかじめ本学の教員が指導教員となる旨、内諾している必要があります。出願前に、自ら本学の教員と研究計画、日本語能力等について十分な連絡を取り、指導教員の内諾をもらっていることが出願の前提となります。

2. 指導教員との連絡方法

希望する指導教員と連絡をとる場合、いきなり「指導教員になってください」というのでは、指導教員も驚いてしまいます。自己紹介のほか指導教員と連絡をとる場合の基本的な事項を以下に記します。

- 1) 学歴（小学校～大学卒業まで）
 - 2) 職歴（働いた経験があれば）
 - 3) どのようにして指導教員の名前を知ったか
 - 4) 指導教員を希望した理由
 - 5) 研究計画
 - 6) 卒業証明書・成績証明書の写
 - 7) 出身大学の指導教員からの推薦状の写
 - 8) 日本語能力の証明（日本語能力試験の結果など）
 - 9) 日本滞在中の経費負担の方法
- * 指導教員から質問等があるのでやり取りは数回必要になります。このため願書提出の3か月くらい前には1回目の連絡をとる必要があります。
- * 返信をもらえない場合の事例として中国語など日本語以外のウェブメールサービスからメールを送ると、メール本文を日本語で書いたとしても文字化けがおこり、指導教員が読めないということがあります。ウェブメールを用いて日本語のメールを送信する場合は日本のウェブメールサービスのアカウントを取得してメールを送信する必要があります。
- * なお東京電機大学では、指導教員との連絡について、国際センターを経由して調整を行っています。

以上